年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（１学年用） 教科 家庭 科目 服飾手芸（三修）

教 科： 家庭　　科 目： 服飾手芸（三修）　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年　　組～　　組

教科担当者：（ 舩木 ）

使用教科書：（ ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 服飾手芸（三修） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な手芸の技法を習得し、作品を製作することができる。 計画的に作品の製作をすることができる。	製作するデザインに適した素材を選び、自分の技量に合わせたデザインを考え作品の製作をし、レポートにまとめ発表ができる。	習得した技術を応用し、各自の生活で活用できる小物について考察し、作成を積極的行うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A クロスステッチ 基本縫い 【知識及び技能】 布の特性を理解し、その特性に合わせた縫い方ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 模様に合わせて、縫い方を選択して刺繍することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 準備、片づけを進んで行い、道具や教室の整備を行うことができる。	○指導事項 ・クロスステッチの基本的な縫い方の練習 ・クロスステッチの作品製作（基礎的な模様） ○教材 ・指導資料 ・記録表 ・用具、手芸の材料 ○一人１台端末の活用 等 ・資料の提示 ・作品の記録・レポート作成	【知識・技能】 クロスステッチの基礎縫いができているか。 【思考・判断・表現】 クロスステッチの技法を習得し、模様に合った刺し方を自分で選択し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片づけを進んで行うことができ、実習の記録を行うことができる。	○	○	○	16
	Bクロスステッチ 各自のデザイン 【知識及び技能】 基礎的な技術を習得し、デザインの参考例を活用し、各自でデザインを考える。 【思考力、判断力、表現力等】 デザインに合った刺繍糸を選び、デザインの色を決めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 準備、片づけを進んで行い、道具や教室の整備を行うことができる。	○指導事項 ・クロスステッチのデザイン ・デザインの色決定 ○教材 ・指導資料 ・記録表 ・用具、手芸の材料 ○一人１台端末の活用 等 ・資料の提示 ・作品の記録・レポート作成	【知識・技能】 自分の技量に合わせて、デザインを考える。 【思考・判断・表現】 自分のデザインに合った刺繍糸を選択し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片づけを進んで行うことができ、実習の記録を行うことができる。	○	○	○	14
2学期	Bクロスステッチ 各自のデザイン 【知識及び技能】 基礎的な技術を習得し、デザインの参考例を活用し、各自でデザインを考える。 【思考力、判断力、表現力等】 デザインに合った刺繍糸を選び、デザインの色を決めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 準備、片づけを進んで行い、道具や教室の整備を行うことができる。	○指導事項 ・クロスステッチのデザイン ・デザインの色決定 ○教材 ・指導資料 ・記録表 ・用具、手芸の材料 ○一人１台端末の活用 等 ・資料の提示 ・作品の記録・レポート作成	【知識・技能】 自分の技量に合わせて、デザインを考える。 【思考・判断・表現】 自分のデザインに合った刺繍糸を選択し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片づけを進んで行うことができ、実習の記録を行うことができる。	○	○	○	14
	C クロスステッチの作品で手提げバッグを製作 【知識及び技能】 ミシンを使用し、手提げバッグの製作できる。 【思考力、判断力、表現力等】 素材の特性を考え裏地を選びバッグの製作を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 完成した作品に対して、素材や工夫して点についてレポートにまとめ、発表することができる。	○指導事項 ・手提げバッグの製作 ○教材 ・指導資料 ・記録表 ・用具、手芸の材料 ○一人１台端末の活用 等 ・資料の提示 ・作品の記録・レポート作成	【知識・技能】 ミシンの使い方を習得し、正しい縫い方で手提げバッグの製作を行える。 【思考・判断・表現】 素材の特性を考えて、裏地を選び、素材に合った縫い方やアイロンの温度を選択し製作する 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片づけを進んで行うことができ、実習の記録を行うことができる。	○	○	○	6
3学期	D テディベアの製作 【知識及び技能】 デザインに合った布地を選択し、手縫いで縫製を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 部位に合った縫製方法や縫い代の始末について考察し、問題点を見つけ改善策を考察し取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 準備、片づけを進んで行い、道具や教室の整備を行うことができる。	○指導事項 ・テディベアの製作 ○教材 ・指導資料 ・記録表 ・用具、手芸の材料 ○一人１台端末の活用 等 ・資料の提示 ・作品の記録・レポート作成	【知識・技能】 デザインに合った布地を選択し、布地の裁断、印付け、縫製を行うことができる。 【思考・判断・表現】 部位に合った縫製方法や縫い代の始末について考察し、問題点を見つけて改善策を考察し縫製できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片づけを進んで行うことができ、実習の記録を行うことができる。	○	○	○	20
	E テディベアの小物作成 【知識及び技能】 デザインに合った毛糸を選択し、かぎ針で小物を編むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 小物に合った編み方考察し、問題点を見つけ改善策を考察し取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 準備、片づけを進んで行い、道具や教室の整備を行うことができる。 完成した作品について、レポートにまとめて発表ができる。	○指導事項 ・テディベアの製作 ○教材 ・指導資料 ・記録表 ・用具、手芸の材料 ○一人１台端末の活用 等 ・資料の提示 ・作品の記録・レポート作成	【知識・技能】 デザインに合った毛糸とかぎ針を選択し、小物を編むことができる。 【思考・判断・表現】 小物に合った編み方について考察し、問題点を見つけて改善策を考察し縫製できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片づけを進んで行うことができ、実習の記録を行うことができる。 完成した作品のまとめのレポートを作成し、発表ができる。	○	○	○	8
							合計 78